

# 箱根の里整備キャンプ報告書

日時：令和4年7月2日、3日

会場：三島市立箱根の里（A, C, Dサイト）

参加者：ユースチーム静岡、仏教章取得者の会合計19名

ユースチーム静岡からの参加者

山田哲也（浜松第14団）、中嶋みと葉（浜松第12団）、山田夕理（沼津第19団）、駒走聡俊（三島第3団）、小林理来（三島第14団）、河野伴隆（三島第3団）、森栄徳（富士宮第5団）、バーヌカ（静岡第14団）、小林遥伽（浜松第12団）、東孝輔（三島第14団）

日程：

7月2日（土）

9：00 受付、入場

10：00 設営開始

12：00 昼食（各自持参）

13：00 開会式、入所式

13：30 交流プログラム（水鉄砲制作、対決）

15：00 奉仕活動

17：00 夕食準備

18：30 お風呂

19：30 夕食

20：00 キャンプファイヤー

21：00 班長会議

21：15 交流会

22：00 消灯

7月3日（日）

6：00 起床、配給

7：00 朝食、テント乾燥

8：00 朝礼、スカウトOWNサービス

8：30 モーニングゲーム（カモンじゃんけん）

9：00 奉仕活動

11：30 撤営

12：00 昼食

13：00 清掃、荷物搬入、移動

14：00 閉会式、閉所式、写真撮影

15：00 解散

奉仕内容：

1日目 アラメア班→階段作り

ベガ、クーゲルシュライバー班→丸太運び、サイト周辺の整備

2日目 アラメア班から指導を受け、2か所の階段を制作

同時にサイト周辺で活動するのに危険な大きな枝を集めて運ぶなどの整備を行った

安全：

怪我人なし

軽い熱中症が2名（夜発症したが、両名とも朝には良くなった）

評価点：

今回のキャンプは班活動だった為、スカウトらしい活動ができ、また久々の野営ということもあり、ジャンボリーへ向けたテント生活の良いリハビリとなった。キャンプファイヤーで各班から出し物をしたこともあって、初めて会ったメンバーでも班員として仲良くなることができた。プログラムのにも、全体的には時間に余裕が持っていた。今回は、ベンチャー二人を除いてはローバースカウト以上のスカウトだった為、個々の裁量が大きく、今までの技術や知識、経験や個性が試される二日間となり、それを基に奉仕を行うことができた。ユースチーム静岡と仏教章取得者の会で初めて交流し、普段関わらない人と関わることができたことで、様々なことを得られたとともに、ローバーコミュニティの活性化につながったと思う。なにより、大きな問題もなく終えられた事は良かった。

反省点：

まず、明確なテーマがあると良かったのではないかと感じた。せっかく、ユースチーム静岡と仏教章取得者の会と一緒に活動する機会だったので、お互いの普段やっている活動を紹介したり、体験してみる機会があれば良かったと思った。また、交流プログラムのルールは改善する余地があったり、班を組んで参加者に通知するのを早めたり、奉仕をする場所によって、一日目のスケジュールがタイトであると感じる部分があったため、今後に生かしていきたい。国旗降納は必ずどのタイミングで誰が降納するか、打ち合わせをしておく必要があった。また、他の班の人と関わる機会があまりなかったと思うので、そういった機会を作ったり、事前に細かい計画を共有しておけば良かったと思う。参加者の中からは、もっと奉仕の量があっても良かったという声もあった為、次回以降の奉仕量の参考にしたい。

二日間での気づき：

自分たちが整備を行うことで、普段何気なく使っている場所でもいろいろな人の苦労の上でできていることを知り、日本ジャンボリーという大きい大会の会場整備の大変さとそれをやってくれていた先輩や指導者たちへの感謝を感じ、大会が成功するために働けたことへの感謝も感じた。奉仕活動は、カブ隊やボーイ隊時代には感じなかったスムーズな連携があり、みんなで何かを協力し築き上げることが簡単で、今後も物として残るものを作れるのはやりがいがあって楽しいと思った。また、自分たちが身に付けてきた技術や知識は、後輩に教えるだけでなく、奉仕として活かすことができ、奉仕活動は「誰かのために行動する」という精神があるので、自然に他の人が気づかないことでも敏感に気づこうとするようになって、お互いを認め合えたり、評価し合えるような良い空気感が生まれやすいという気づきがあった。そして、初めて行う奉仕活動の内容でも得た情報を教え合い、協力すれば何事も出来たり、誰かが学べば、連鎖的にその学びを伝えていけ

ることに気づかされた。普段関わらない人と関わったことで、自分の普段の世界の狭さを知り、東部と西部は全く雰囲気がちがうことに気づき、県内でもまだまだあったことのないスカウトが多くいることを認識した。そして、久しぶりの野外活動であったが、仲間と協力して活動することは楽しいと再認識した。

今後へ向けて：

今回は、初めて会った人がそれぞれ多くいて、普段関わらない人と関わった事によって、多くの学びや気づきを参加者それぞれが感じることができた。ここで知り合った仲間とまた一緒に活動ができるように、お互い頑張っていけたらと思う。また、反省点を改善し、今後のユースチーム静岡の活動に活かし、更に活動を発展させ、静岡のローバーコミュニティの活性化や、自団での活動へつなげていきたいと思う。















報告者：運営委員 山田夕理